

上手な暮らし塾

自治会

地域を元気に！あなたの町の自治会 古賀地区自治会連合会

今回は、郷土愛を育てようと「古賀民謡」を復活させた古賀地区自治会連合会の濱田文秀会長にお話を伺いました。

「古賀民謡」復活のきっかけは？

「古賀民謡」は昭和6年に郷土の歌として、地域住民が大切にしていた事柄を歌詞に取り入れ、作詞・作曲されました。

当時は戦争などの混乱の最中でごくわずかの人たちの記憶にとどまり、広く知られていませんでした。平成10年ごろから復活を望む声が上がリ、平成25年、地域のかたがプロの歌手に編曲を依頼し、古賀地区の特徴を生かすリズムにするため、何度も協議し、現代にあった形で、古賀民謡を復活させました。

「古賀民謡」を復活させてよかったことは？

地域の皆さんが親しみを持てるよう、楽しく踊れる振付を作ってもらいました。小学校の運動会や古賀納涼夏まつり、古賀くんちなど、子どもから大人まで参加する行事で、みんなで「古賀民謡」を歌って踊ると、住民の一体感を感じることが出来ます。

「これからどんな地域にしていきたい？」

「明るいあいさつ！あふれる笑顔！緑と歴史のまち古賀！」をキャッチフレーズに、古賀地区の自然と歴史・文化を生かし、地域のコミュニティを大切にすまちづくりをしています。「古賀民謡」も郷土愛を育むために、今後も広めていきたいです。

* * *

古賀地区自治会連合会ではほかに、鬼火焚や古賀を語る会など、地域コミュニティを活性化する活動などを行っています。

このように、自治会は地域のためにさまざまな取り組みを行っています。あなたも、地域の一員として自治会活動に参加してみませんか。

■問い合わせ

自治振興課 ☎829・1134

古賀民謡 作詞・古賀女子青年団 / 補作詩・作曲・リビート山中
燃ゆる緑木 真紅の花と 植木そだてて 名が高い
あぁヨイヨイヨイところ歴史が薫る
ここは長崎街道の古賀の里

消費者

新型コロナウイルス感染症関連の 悪質商法にご注意！

●公的機関や携帯電話会社、金融機関などをかたる「なりすまし」

【事例】Aさんに「〇〇市コロナ対策室です。このたびは新型コロナウイルスウィルス感染のことで大変ご心配をおかけしています。市ではこのように皆さまに助成金をお配りしています。一人当たり3万円振り込みますので、キャッシュカードの番号または銀行口座番号を教えてください。不審に思い市役所に確認すると、そのような電話はしていないとのことでした。

【アドバイス】公的機関などになりすまし、個人情報聞き出す手口である可能性もありますので、電話に心当たりがないなど、不審な点を感じたら、一旦電話を切って、確認や相談をしましょう。

●マスクの「送り付け」

【事例】Bさんに使い捨てマスク30枚が宅配便で届きました。家族も全く心当たりがなく、請求書は入っていませんでした。

【アドバイス】売買契約は成立していないので、万一請求されてもお金を払ってはいけません。また、連絡する必要もありません。商品

到着日から送り主による引き取りがないまま14日間を経過したら、商品を処分してかまいません。その後、商品の引き取りに感じる必要もありません。できれば受け取りを拒否しましょう。

●SNS上で不審な通販サイトへの誘導

【事例】「マスクが購入できない」というSNSの書き込みや広告から、不審なサイトへ誘導された。

【アドバイス】「こちらにアクセスしてクレジットカード番号を登録してください」とURLが記載されている場合などは、個人情報を不正に取得される恐れがあります。インターネット通販では、運営者の住所や電話番号、注文手続きに不審な点はないかよく確認しましょう。もし、不審なサイトでカード番号などを入力してしまったら、早急にカード会社に連絡しましょう。

* * *

迷ったときや困ったときは消費者センターにご相談ください。

■問い合わせ

消費者センター ☎829・1234

特集

市民

市政

フレッセント

生活情報

子育て

福祉・健康

被爆者援護

税

講演・講座

もよおし

おしらせ

募集